

## 「生き抜く力」を育む保小中一貫教育

### インターネットを使ったリモート学習

新型コロナウイルス感染症拡大以来、企業でもインターネットを使ったテレワークが広がりました。テレビ番組でも出演者が自宅からリモート出演することも当たり前になっています。

さて、現在県内では感染も抑えられており、子どもたちの学習の遅れはない状況ですが、感染拡大の第2波、第3波による臨時休業等に備え、県全体でインターネットを活用した学習環境づくりに取り組んでいます。日南町でも、デジタル教材を利用したオンライン学習や、在宅でのオンライン授業のための環境整備に取り組んでいるところです。

5月29日（金）、日南中学校では、3年生の生徒が参加して、アメリカ・シアトル市の中学校とオンライン授業が行われました。アメリカでは、在宅でのオンライン授業がずっと行われている状況ですが、シアトルの中学校の日本語クラスの各生徒の自宅と日南中学校とをインターネットでつなぎ、生徒同士が交流しました。日本では午前9時ですが、シアトルは午後5時。自己紹介から始まり、グループに分かれての質問タイム、大切なものを紹介する活動等を行い、交流を深めることができました。今年来日することができなかったシアトルの生徒も喜んでくれたようです。7月には第2回の交流も計画されています。

6月5日（金）には、中学2年生の英語の授業で、県内小中学校で3例目となるオンライン授業の実証実

験を行いました。生徒は自宅でオンライン授業に参加することを想定し、一人一人がタブレット端末を持って校舎3階の3つの教室に分かれ、指導される教頭先生とハンセカー先生は1階の別室から授業を進められました。生徒の画面には先生の姿が映し出され、先生の画面には生徒の姿が一覧表示され、会話することも可能です。全員が一斉に発言することが難しいなどの問題もありますが、色カードを使って生徒の反応を確かめるなどの工夫をすることで、授業はスムーズに進みました。生徒たちは、「楽しかった。明日もやりたい。」とか、「普段よりも集中できた。」などの感想を口にしていました。

今後は、別の学年や小学校でもオンライン授業を実施するなど、子どもたちの学びを保障できるように取り組んでいく予定です。



## にちなん子ども応援隊だより No. 85

新年度がスタートして2か月余り。新型コロナウイルス感染症拡大で今まで経験したことがない状況の中で、生活様式の変化を余儀なくさせられることとなりました。しかし、この5か月の中で私は大変な場面も見ましたが、様々な工夫をしたり、他を思いやり、感謝の声を届けたりしている素晴らしい姿もたくさん目にしました。

さて「にちなん子ども応援隊」の取り組みも、新型コロナウイルス感染症拡大防止に努めながら始動しました。今年度もよろしくお願ひいたします。

日常的に行われている登下校の見守りや図書支援の他に、5月28日には5年生の総合的な学習の時間に行う田植えの支援もしていただきました。

特に登下校見守りは、日南中学校前のバス停だけでなく、多里線の萩原・多里・新屋、山上線の笠木・細谷別れ等、児童・生徒が乗るバス停で地域の方々がしてくださっています。他にも、「思いついて立ってみた」「バス停の掃除を何も言わんのに男子中学生がしてくれて嬉しかった。ほめてやった」等と話してくだ

さる方もあります。どれもありがたいボランティアです。本当にありがとうございます。

これからも子ども達の健やかな成長のために、出来る時に出来ることをご支援いただきますようよろしくお願ひいたします。

連絡先…日南町教育委員会(82-1118)  
コーディネーター携帯(080-5232-7712)

